

文部大臣 荒木万寿夫 殿

昭和 36 年 7 月 31 日
 東京都新宿区四谷一丁目
 社団法人 土 木 学 会
 会 長 永 田 年

建 議 書

最近の建設事業の進展と質的向上にともない土木技術者の著しい不足を生じている実情に鑑みこの際緊急に高級土木技術者養成のため各大学に現状に即応する土木関係の教室或は講座の増設について格別の御高配を願ひ度くここに建議いたします。

説 明 書

近年、わが国経済の急速な発展とそれに併行する技術革新のめざましい進展によって、建設事業は急激に増大し、かつまた建設技術は、ますます細分化し、高度に専門化して来ておるが、この傾向は将来更に続くものと考えられる。この内、特に道路整備を中心とした交通輸送体系の確立。水資源利用の総合的対策の確立。工業用地確保のための埋立地造成。生産性の向上、生活環境施設の強化などを中心として都市の整備。治山、治水、災害復旧などの国土保全などが土木事業の主体となっており、その内容も重点とする所も時代の要求とともに著しい変貌を示している。

一方技術の面より見ると、土木工学の各分野において全く面目を新にした新技術が台頭している。即ち第二次大戦を契機として土木工学の各分野は研究の面においても一勢に進展の度を速め、新しい技術も次々と台頭した。

PSコンクリートを例とする新構造材料。橋梁、トンネルをより長く、ダムをより高く、そして工期をより短くする事も可能にする合理化された設計、施工技术。土地造成、軟弱地盤での構造物の建造などを容易に可能とした土質力学。欧米における近代的道路網の建設の経験に基いて確立された道路工学。計算能力の向上と相俟って洪水防禦に貢献する水文学。津波、海岸浸蝕の本態を究明する海岸工学。航空、写真測量などの発達にともなって、その方法を一新した測量学など進展著しいものが多い。

土木工学科を有する各大学ではこれらの新しい状況に対応するため、その教育課程の再検討、講座または学科の新設などに不断の努力をつけているようであるが現在の体制ではまだ十分新しい時代の要求を満足する状態になっているとはいえない。

一方本学会で調査した各大学における土木技術者需給の資料（別表参照）によると、その数において社会の要求に満たないこと甚しく、更に年々悪化する状態をたどる傾向にある。電気、機械、化学工学などの他の工学分野に於ける技術者養成の強化が行はれているが、国の産業基盤の確立をになう土木技術者の強化を怠ることは、産業機構の不均衡な状態をつくるものであって、国の正常な発展にとって容易ならぬことと思われる。

この意味において新しい教育体制の下で、多くの高級技術者を養成し、社会の要求する事業を合理的に遂行できる途を講ずることが焦眉の急となっている。

よって本学会は

- (1) 土木工学科の講座の増設または新設、或は講座の改組改編 (2) 土木工学に関連する教室の新設
 について、各大学より提出されるそれぞれの要望を採択され、これによってより多くの高級技術者を養成し、この深刻なる状態を一日も早く解決されるよう念願する次第であります。

大学土木科卒業生採用申込及び就職状況

大 学 名	昭 和 34 年 度			昭 和 35 年 度		
	申込数	就職数	%	申込数	就職数	%
※北 海 道 大	129人	33人	26	236人	33人	14
※東 北 大	92	29	32	113	31	27
※東 京 大	260	43	17	330	38	12
※京 都 大	465	52	11	590	42	7
※大 阪 大	73	17	23	111	23	21
※九 州 大	156	36	23	214	29	14
計	1175	210	17.9	1594	196	12.3
室 蘭 工 業 大	84	34	40	98	29	30
金 沢 大	不明	27	—	163	27	17
山 梨 大	143	33	23	225	33	15
信 州 大	34	28	82	32	16	50
名 古 屋 工 業 大	270	31	12	350	34	10
岐 阜 大	169	33	20	165	27	16
神 戸 大	214	20	9	267	25	9
広 島 大	109	15	14	134	19	14
山 口 大	140	25	18	170	26	15
徳 島 大	84	34	40	124	25	20
熊 本 大	118	22	19	135	30	22
宮 崎 大	79	25	42	141	26	19
計	1444	327	22.6	2004	317	15.8

※ 印 大 学 院 設 置 調 査 昭. 36.7.31

大 学 名	昭 和 34 年 度			昭 和 35 年 度		
	申込数	就職数	%	申込数	就職数	%
東 京 都 立 大	63	20	32	89	17	19
※大 阪 市 立 大	10	3	30	21	2	10
計	73	23	31.5	110	19	17.3
官 公 立 大 学 累 計	2692	560	20.8	3708	532	14.3
※早 稲 田 大	302	62	21	336	72	21
※日 本 大	262	196	75	320	241	75
※中 央 大	235	66	28	460	62	13
計	799	324	40.6	1116	375	33.7
日 大 第 二 工 学 部	171	48	28	230	49	21
法 政 大	不明	25	—	不明	34	—
武 蔵 工 業 大	137	71	52	168	74	44
芝 浦 工 業 大	236	62	26	306	63	21
関 東 学 院 大	不明	20	—	不明	25	—
名 城 大	81	44	54	75	54	72
立 命 館 大	124	137	110	153	170	111
大 阪 工 大	240	136	57	259	138	53
日 大 工 業 経 営 科	—	—	—	165	44	27
計	989	543	54.9	1306	651	50
私 立 大 学 累 計	1788	867	48.5	2422	1026	42.4
総 計	4480	1427	31.9	6130	1558	25.4

秋 の エ キ ス カ ー シ ョ ン

恒例の秋のエクスカーションを西部支部と共催で下記のとおり行ないます。本年は会員各位の要望により、日本道路公団の若戸橋架橋工事および関門トンネル、北九州道路、博多港などを見学することとなりましたから、ふるってご参加下さい。

1. 日 時：昭和 36 年 11 月 7 日 (火) 8 日 (水) の両日

2. 行 程： " 11 月 7 日 (火) 8.45 鹿児島本線門司駅前集合

東京、関西方面から参加の場合

	雲 仙	高 千 穂	日 向 草	霧 島	さくら(特急)
東京発(26日)	10.30	11.00		13.00	16.35
名古屋 "	16.40	17.05		18.49	21.22
京 都 "	19.10	19.44	20.22	21.22	23.16
大 阪 "	20.05	20.30	21.06	22.10	23.52
広 島(27日)	2.16	2.48	3.20	4.20	4.50
門 司 着	6.31	7.03	7.28	8.36	8.20

9.00 門司駅前発……バス, 9.20 関門トンネル門司側入口……関門トンネル……長府道路, 10.05 関門トンネル管理事務所着・工事概要説明, 資料室, 統御室見学, 11.25 下関側人道口着発……徒歩にて人道見学……17分, 11.45 人道門司口着, 11.55 関門トンネル門司口発……バス, 12.05 北九州道路入口着……バス, 12.35 同終点着, 13.05 八幡市民会館着……昼食……若戸橋概要説明, 14.10 同発……バス, 14.40 若戸橋戸畑側着……見学……渡船, 16.40 若松発……バス, 18.00 博多着……宿泊(一富士荘)

8 日 (水) 9.00~9.30 宿で博多港の説明, 10.30 大塚公園, 西公園を見て博多港工事々務所前より乗船……港内見学, 11.30 中央埠頭下船, 12.00 博多駅着, 解散

3. 会 費：2200 円 (バス代, 船代, 27 日の昼食宿泊料等) 汽車賃は自弁

4. 参加人員：約 100 名 満員になり次第締切りますから早目にお申込み下さい

5. 申込期日：10 月 20 日まで

6. 申込方法：学会所定の申込書に会費を添えて土木学会(東京都新宿区四谷1丁目)にお申し込み下さい。申込書は土木学会本部へお申出次第急送いたします。

第 5 回地震工学研究発表会

1) 日 時：昭和 36 年 10 月 16 日 (月) 17 日 (火)

2) 場 所：土木学会会議室

第 1 日 (10 月 16 日)

9.00~9.05	開会の辞	耐震工学委員会委員長 那 須 信 治
9.05~9.25 (G-1)	ランダム波形振動用加振装置について	電源開発 吉 田 正
9.25~9.45 (G-2)	尾鷲地震の通信調査について	東大生研 岡 本 舜 三
9.45~10.05	(G-1)~(G-2) 討議	
10.05~10.15	休 息	
10.15~11.15	特別講演-1 都市域地盤調査について	資源調査研究所 鈴 木 好 一
11.15~12.15	特別講演-2 都市地震対策に関する調査	東京消防庁 芦 浦 義 雄
12.15~13.00	昼 食	
13.00~13.20 (H-1)	岸壁の安定性に関する研究	九大工学部 松 尾 春 雄
13.20~13.40 (H-2)	重力式岸壁の地震時における安定性について(第4報) 一土圧計受圧面変位が振動土圧におよぼす影響に関する実験一	運輸技研 石 井 靖 丸 夫
13.40~14.00 (H-3)	Hパイル水平荷重試験結果について(その1) 一静荷重試験一	運輸技研 林 鈴 内 克 洋
14.00~14.20 (H-4)	Hパイル水平荷重試験結果について(その2) 一動荷重試験一	運輸技研 林 宮 島 信 雄
14.20~14.40 (H-5)	載荷重を有する裏込振動土圧と壁体の振動	運輸技研 丹 羽 新
14.40~14.50	休 息	
14.50~15.10 (S-1)	含水砂の振動性状に関する研究(第1報) 一剛管内の水で飽和された砂の振動性状一	運輸技研 石 井 靖 丸 夫
15.10~15.30 (S-2)	固定壁に対する砂の振動土圧	電力技研 畑 野 正
15.30~15.50 (S-3)	地震時、矢板岸壁に作用する振動土圧	九大工学部 松 尾 春 雄 生
15.50~17.00	(H-1)~(H-5), (S-1)~(S-3) 討議	山口工学部 犬 原 資

第 2 日 (10 月 17 日)

9.00~9.20	(B-1)	国鉄依託構造物耐震設計方法の研究委員会報告	東大生研	久保慶三郎
9.20~9.40	(B-2)	Damper 方式による耐震構造	首都高速	上行孝孝
9.40~10.00	(B-3)	公団構造物の耐震の考え方	首都高速	宮崎昭二
10.00~10.20	(B-4)	桁および橋脚の震害の性状	国鉄新幹線	小寺重郎
10.20~10.30		休 憩		
10.30~10.50	(B-5)	斜基礎杭上単脚構造物の耐震性に関する模型実験について	京大工学部	後藤 尚男 藤部 卓郎
10.50~11.10	(B-6)	橋脚躯体の極限設計の耐震計算法について	京大工学部	後藤 尚男 藤部 卓郎
11.10~11.30	(B-7)	長大つり橋の地震応答に関する研究	京大工学部	小山 西一 山田 善一
11.30~12.20		(B-1)~(B-7) 討議		
12.20~13.10		昼 食		
13.10~14.10	特別講演-3	日本の地震活動について (暫定)	東大震研	宮村 撰三
14.10~14.30	(D-1)	アーチダムの洪水時の振動解析 (二津野ダムについて)	電源開発	馬場 恭平
14.30~14.50	(D-2)	ダムと貯水の連成振動について	九大工学部	小坪 清真
14.50~15.00		休 憩		
15.00~15.20	(D-3)	自然地震による重力ダムの振動 (第 2 報)	神戸大工学部	畑中 元弘
15.20~15.40	(D-4)	塑性変形を考慮したアースダムの振動特性について	京大農学部	南 勲
15.40~16.20		(D-1)~(D-4) 討議		
16.20~16.45		日本における地震測定の現況	耐震工学委員会委員長	那須 信治

講演概要: 250円 (送料共) B5判 50 ページ程度 オフセット印刷

懇親パーティー: 会費 500円 (当日受付) 日時: 10月16日 (月) 18時より, 場所: 土木学会会議室

新 刊 案 内

●昭和 36 年度改訂・土木学会プレストレスト コンクリート設計施工指針

定価 350 円 会員特価 250 円 (〒 50 円)

B 6 判 130 ページ (条文 9 ポイント, 解説 8 ポイント), 布クロス・ビニールカバー付上製, 上質紙使用

●最近におけるプレストレスト コンクリート設計施工指針の改訂と PC 橋の現況一

定価 550 円 会員特価 400 円 (〒 80 円)

B 5 判 220 ページ, 11 名の著者により執筆, 本文 8 ポイント, 写真・図表多数, 並製, 上質紙使用

●関門トンネル工事誌 関門トンネル工事誌編さん委員会編

定価 2 000 円 会員特価 1 500 円 (〒 200 円)

B 5 判 800 ページ, 本文 9 ポイント, 色刷図・折込図・写真・図表多数, 箱入豪華本

関 西 支 部 行 事 案 内

(大阪市東区大手前之町 大阪合同庁舎 近畿地方建設局企画室内)
電大阪 (94) 代表 7041 振替口座 大阪 82599番

(1) アスファルト舗装要綱講習会

主催: 日本道路協会・関西道路研究会・土木学会関西支部

- 1) 日 時: 昭和 36 年 9 月 25 日 (月) 9 時 30 分~16 時
- 2) 場 所: 大阪府職員会館 2 階大講堂 (大阪市東区大手前之町大阪府庁本館西裏) 電・大阪 (94) 0351
- 3) 題目と講師:

9.30~11.30	設 計	建設省土木研究所 竹下 春 見
11.30~12.00	質疑応答	
13.00~15.00	施 工	建設省関東地建 首都国道工事事務所長 埴 原文 弥
15.00~16.00	質疑応答	

- 4) 定 員: 400 名
- 5) 参加費: 100 円
- 6) テキスト: アスファルト舗装要綱 (改訂版) を御持参下さい。発売所丸善, 定価 250 円, 当日会場において丸善が販売します。
- 7) 申込期限: 昭和 36 年 9 月 11 日 (月)
- 8) 申込要領: 参加希望者は勤務先, 連絡先および氏名を明記の上, 参加費 100 円 (送金は振替口座利用のこと) を添えて土木学会関西支部へ申込んで下さい。ただし申込期限内でも定員に達したときは先着順で決めますから早くお申込み下さい。参加者には参加章をお送りしますから, 当日は必ず御持参下さい。参加章のない人は入場をお断りします。

(2) 第 3 回見学会

(鶴甲山および芦有道路)

会 告

- 1) 期 日：昭和 36 年 10 月 4 日(水)
- 2) 見 学 先：神戸港埋立地、鶴甲山、芦有道路
- 3) 集 合：当日 12 時 50 分までに三宮新聞会館北側へ集合(国鉄三宮駅下車)
- 4) 行 程：借切観光バス 13 時 新聞会館発→13.15 神戸港埋立地着(見学 30 分) 13.45 発→14.00 鶴甲山着(見学 30 分) 14.30 発→14.50 芦屋着—有馬—芦屋(見学とも 2 時間)→17.10 三宮着解散。
- 5) 参 加 費：200 円
- 6) 定 員：100 名
- 7) 申込方法：参加希望者は勤務先、連絡先および氏名を明記の上 9 月 20 日(水)までに参加費 200 円を添えて土木学会関西支部へ申込んで下さい。
- 8) 定員超過の場合の処置：申込期限内でも定員に達した場合は先着順で決めますから至急お申込み下さい。参加決定の方には参加章をお送りします。

(3) 技術講座 1 号

- 1) 講座名：薄肉土木構造物の理論と設計
- 2) 日 時：昭和 36 年 10 月 17 日(火)、18 日(水)、19 日(木)の 3 日間、13 時—16 時
- 3) 場 所：大阪市立大学工学部第一教室
(大阪市北区南扇町、国鉄大阪駅東方約 700 メートル、大阪市水道局庁舎西側)
- 4) 講 師：大阪市立大学 助教授 小 松 定 夫
- 5) 定 員：100 名
- 6) 参加費：100 円(テキスト代をふくむ)
- 7) 申込期限：昭和 36 年 10 月 9 日(月)
- 8) 修了証書：講座終了後希望者へは受講証明書をお渡しします(ただし出席率 50 %以上)。
- 9) 受講申込方法：受講希望者は勤務先、連絡先、氏名、講座名および修了証書の要否などを明記して参加費 100 円(送金は振替口座利用)を添えて 10 月 9 日(月)までに土木学会関西支部へお申込み下さい。参加章をお送りします。

I. U. T. A. M. 主催 “遷音速流” シンポジウム参加者推薦について

日本学術会議力学研究連絡委員会では、国際理論応用力学連合の標題シンポジウム開催について、参加者の推薦を求めています。希望者は下記要項で学会にご連絡下さい。

1. 会 名：I.U.T.A.M. 主催 “遷音速流” シンポジウム
2. 場 所：ドイツ Aachen
3. 期 日：1962 年 9 月 3 日～9 月 7 日
4. 主 題：a) ホドグラフ法；特異点；隣接解
b) 定常二次元流および軸対称流；積分方程式の方法，parabolic method，局所線型化法
c) 定常三次元流；相当法則，面積法則，小縦横比の翼理論，Sonic edges
d) 非定常流；音速における波動伝播，フラッター
e) 内部流；ラバール管，風調補正壁の影響
5. 招待講演および討論を主とする。
6. 推薦期日：昭和 36 年 10 月 31 日(手続上 10 月 20 日までに学会にご連絡下さい)

各支部所在地と役員

- 北海道：札幌市北 3 条西 5 丁目 北海道土木部河川課内 電札幌 (5) 9111
支部長 三 島 勇 北海道土木部長 幹事長 七 田 茂 北海道土木部次長
- 東 北：仙台市北三番丁 124 東北地方建設局企画室内 電仙台 (2) 4191
支部長 樋 浦 大 三 東北大学教授 幹事長 佐々木茂雄 東北地方建設局企画室長
- 中 部：名古屋市昭和区狭間町 30 中部地方建設局企画室内 電名古屋 (73) 8151
支部長 吉 川 吉 三 中部地方建設局長 幹事長 豊 田 栄 一 中部地方建設局企画室長
- 関 西：大阪市東区大手前之町大阪合同庁舎内 近畿地方建設局企画室内 電大阪 (94) 7040
支部長 高 津 俊 久 大阪市計画局長 幹事長 米 谷 栄 二 京都大学教授
- 中国四国：広島市千田町 3 広島大学工学部土木教室内 電広島 (4) 1161
支部長 庄司陸太郎 広島大学教授 幹事長 網 干 寿 夫 広島大学助教授
- 西 部：福岡市上呉服町 20 第一生命会館 4 階・日本道路公団福岡支社調査課内 電福岡 (3) 8631
支部長 田 中 寛 二 日本道路公団福岡支社長
幹事長 有 田 達 日本道路公団福岡支社調査課長